



## 第1回常任理事会

**日時** 令和4年4月12日(火) 18:00～19:19  
**場所** 北海道医師会館・9階理事会室  
**出席者** 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、藤瀬・梶両監事、長瀬顧問

(事務局：本田事務局長ほか13名)

### 協議事項

**第1号 北海道医師会職員貸付金の利率に関する件**  
(目黒常任理事)

昨年度同様の1.6%とすることと決定。

**第2号 個人情報保護管理体制・特定個人情報等保護管理体制の一部改正に関する件**(目黒常任理事)

4月の人事異動に伴う、「個人情報保護管理体制」ならびに「特定個人情報等保護管理体制」の一部改正をすることと決定。

**第3号 第1回郡市医師会会長協議会**[5月28日(土)]  
の開催に関する件(目黒常任理事)

第1回郡市医師会会長協議会を、5月28日(土)16時からWeb併用にて開催することと決定。

**第4号 第1回理事会の議案に関する件**  
(目黒常任理事)

4月16日(土)16時から当会館において開催する、第1回理事会の提出議案を決定。

**第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件**(高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座8件を承認することと決定。

**第6号 その他**

(1) 4月行事予定に関する件(事務局)

(2) 令和4年度主行事予定に関する件(事務局)

### 報告事項

**1. 防災訓練(災害時情報通信訓練)**[3月18日(金)・Web併用]について(目黒常任理事)

災害時における都道府県医師会との連携やJMAT活動の充実を目的とし、衛星アンテナを使用したイ

ンターネット回線を介して開催され、都道府県医師会などの関係機関はWebで参加した。日医・中川会長、鹿児島県医師会・池田会長の挨拶後、桜島噴火を中心とした複合災害を想定し各避難所の現地報告や情報共有の訓練が行われ、日医・猪口副会長が訓練を総括して終了した。

**2. 社会保険医療指導委員協議会**[3月21日(月)・Web併用]について(伊藤常任理事)

4月からの診療報酬改定に伴い、各郡市・医育機関医師会の社会保険医療指導委員等を対象に、本協議会を開催した。北海道厚生局から佐野晋司統括指導医療官を講師としてお招きし「令和4年度診療報酬改定の概要」と題し、医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価、外来医療の強化・機能分化、質の高い在宅医療・訪問看護の確保、新興感染症等に対応できる医療提供体制の構築に向けた評価、不妊治療の保険適用等について講演があった。出席者は75名であった。

**3. 医師キャリアサポート相談窓口利用者との懇談会**[3月26日(土)]について(水谷常任理事)

相談窓口利用者相互の交流・情報交換ならびに要望を聴く機会として、前回に続きWeb併用にて開催した。Zoom機能により出席者を2グループに分け、「あなたは今、何に困っていますか?」をテーマに、利用者、コーディネーターの立場から現状や経験などについてディスカッションを行い、各グループのファシリテーターより報告して全体共有した後、フリートークを行った。出席者は17名(うちWeb参加8名)であった。

**4. 北海道医師会JMAT研修会**[実践編][3月27日(日)]について(青木常任理事)

本研修会の基礎編やDMAT研修など災害医療研修の既受講者を主な対象とした実践編を開催した。今回は日医JMAT-eラーニングを活用した事前学習を取り入れ、災害対応時の情報共有の方法、JMAT派遣に係る準備、被災地での健康管理や診療などについて実習を中心としたプログラムで行った。参加者は32名であった。本研修会は令和4年度も開催する予定。

**5. 医療機関勤務環境評価センターの北海道医療サーベイヤーワーキンググループ**[3月28日(月)]について(水谷常任理事)

医師の働き方改革に関連し、当会より評価センターに推薦した医療サーベイヤー間の連携体制の構築と相互の情報共有を図ることを目的に開催した。サーベイヤー11名と当会関係役員が出席し、設置趣旨や今後のスケジュールについて確認したほか、意見交換を行った。

**6. 認知症多職種連携検討会**[3月29日(火)・Web開催]について(荒木常任理事)

シンポジウムとして「北見市における認知症施策について」をテーマに、北見赤十字病院認知症疾患

医療センター・福島恵美子認知症看護認定看護師より「認知症疾患医療センターの活動について」、北見市保健福祉部地域包括ケア推進担当・大貫幸代主幹より「北見市地域包括支援センターの取組状況について」、北見市認知症の人と家族の会（よりそいの会）・芳賀誠次会長より「北見市認知症の人と家族の会（よりそいの会）の取組について」と題して発表があった。参加者は17職種90名であった。

#### 7. 都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会 [3月30日(水)・Web開催] について (三戸常任理事)

日医・中川会長の挨拶の後、厚生労働省・文部科学省より「医療的ケア児支援法について」をテーマに、支援センター、学校、保育所等における取組と先進事例の報告ならびに、大阪府豊中市教育委員会より「大阪府豊中市の取り組みについて」をテーマに報告があった。また、日医より「令和4年度診療報酬改定について(医療的ケア児関係)」、埼玉医科大学総合医療センターより「小児在宅ケア検討委員会答申について」の説明があり、協議が行われた。参加者は139名であった。

#### 8. 学校保健講習会 [4月10日(日)・Web開催] について (三戸常任理事)

日医および日本学校保健会の中川会長からの挨拶後、文部科学省初等中等教育局から中央情勢について、日本学校保健会および中央教育審議会の取組・活動について報告があった。その後、シンポジウム「児童・生徒をとりまく課題」について「問題行動(いじめ・自殺・不登校)」、「家庭環境(児童虐待・ヤングケアラー)」、「ICT化に伴う目の健康」、「エコチル調査と学校保健」の講演・討論が行われた。受講者は539名であった。

#### 9. 外部各委員会報告

##### (1) 第2回北海道ギャンブル等依存症対策推進会議 [3月28日(月)] について (荒木常任理事)

北海道ギャンブル等依存症対策推進計画に係る取組状況について、各構成機関から報告を受けた後、当会議対策推進部会設置要綱の一部改正について検討し、今後のスケジュールについて確認した。

##### (2) 第3回北海道いじめ問題審議会 [3月29日(火)・書面開催] について (三戸常任理事)

いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため、北海道教育委員会が札幌市を除く道内全ての公立小・中・高校および特別支援学校を対象に実施した、いじめの問題への対応状況調査の結果(令和3年11月末時点)について報告があった。

##### (3) 北海道在宅医療推進支援センター 第2回運営協議会 [3月30日(水)・Web会議] について (伊藤常任理事)

本センターの令和3年度活動実績について報告があった後、令和4年度の活動方針について検討

課題を整理するなど協議を行った。

#### 10. 中央情勢報告

##### 厚生労働省の人事 (2022. 4. 1付) について (荒木常任理事)

4月1日発令分を含めた幹部人事について、小職より情報提供した。

#### 11. その他

##### (1) 外園監事の辞任について (目黒常任理事)

外園監事から、一身上の都合により、令和4年3月末をもって、辞任の申し出があったことを報告した。

#### 道総医協関連事項 (鈴木副会長)

##### 1. 地域医療専門委員会 第2回在宅医療小委員会 [3月24日(木)・Web併用] について

(伊藤常任理事)

北海道在宅医療推進支援センターで実施した各種在宅医療推進関連事業や在宅推進(ACPを含む)に係る各種研修会等の活動報告後、令和4年度に向けての在宅医療推進方針について協議した。また、在宅医療実施中の患者と医師のトラブルについて、安全対策や未然防止のためどのような取組や対応が必要なのか、今後在宅医療の研修会等で意見交換の場を設けることが説明された。

##### 2. 地域保健専門委員会難病対策小委員会 (北海道難病対策協議会) [3月28日(月)・Web併用] について (三戸常任理事)

これまで各道立保健所が所管していた指定難病等の支給認定等の事務を4月1日から本庁に集約すること、および北海道が独自に実施している医療費助成制度の今後の見直しの方向性について説明があった。その後、3回にわたりワーキンググループ会議で議論した移行期医療支援体制整備事業の概要、移行期医療支援センターの設置ならびに今後の検討内容について報告があった。

##### 3. 運営委員会ならびに第65回総会・各専門委員会 (第1回) の開催日程について (鈴木副会長)

5月9日(月) 当会三役会終了後に運営委員会、5月24日(火) 16時から第65回総会、同日16時40分頃から各専門委員会を開催することについて、小職より報告した。

## 第1回理事会

日時	令和4年4月16日(土) 16:00~17:10
場所	北海道医師会館・9階理事会室
出席者	松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・水谷・伊藤・生駒・笹本・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、滝山理事、長瀬顧問、藤瀬・梶両監事、北野委員 (Web参加者) 山科・青木両常任理事、今・

島田・恩村・鈴木・沖・小西・吉田・稲葉・  
久島各理事、本間議長、井門副議長、  
深澤参与、藤井日医理事、本望・上埜・  
中川各委員

(事務局：本田事務局長ほか13名)

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 報告事項

- (1) 日医理事会報告(長瀬顧問、藤井日医理事)

2月の理事会では、第30回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会の件、中医協の件等の報告、第150回日本医師会臨時代議員会開催方法の件、令和4年度日本医師会事業計画および予算等について協議した。3月の理事会では、第89回日本医学会定例評議員会の件、社会保障審議会障害者部会(第125回)の件等の報告、新型コロナウイルス感染症対応に資する人材養成研修会開催の件、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する緊急声明の件等について協議した。また、事前の理事打合せにおいて、後発医薬品の安定供給について意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

- (2) 日医各委員会報告

- 1) 学術推進会議[12月2日(木)、3月31日(木)・Web会議]について(本望委員)

12月2日の会議では、東北大学大学院医学系研究科・出澤真理教授より「Muse細胞のもたらす医療イノベーション」について、大阪大学大学院医学系研究科西田幸二主任教授より「眼の再生医療の現状と展望」について講演があり、意見交換を行った。3月31日の会議では、会長諮問「再生医療の未来について」について講演を行った要旨をまとめ、報告書を作成することとした。

- 2) 地域包括ケア推進委員会 [12月16日(木)・1月20日(木)・3月17日(木)・Web会議]について(北野委員)

答申の取りまとめに向けて意見交換を行うとともに、介護政策の最新動向について情報を共有した。会長諮問「自立支援と重度化防止の視点を踏まえた地域包括ケアシステムの構築に向けて～新興感染症下における地域づくり～」の答申は、4月21日に提出される予定である。

- 3) 母子保健検討委員会 [2月16日(水)・Web会議]について(三戸常任理事)

会長諮問「子どもを産み育てやすい社会の実現に向けて医師会はどう関わるべきか～成育基本法をもとに～」の答申の取りまとめについて意見交換会を行った。答申は産婦人科と小児科の領域に分けて、分担執筆すること

となった。

- 4) 女性医師支援センター事業運営委員会 [2月16日(水)・Web会議]について

(藤井日医理事)

令和3年度事業計画の進捗状況について報告後、令和4年度事業計画(案)について協議を行った。前年度の計画をほぼ踏襲しているが、新たに「女性医師に限定しない医師全般に対する就業支援・キャリア支援の検討」を盛り込み、令和4年度日本医師会事業計画案に基づく対応を行っていくこととした。

- 5) 救急災害医療対策委員会 [2月25日(金)・3月31日(木)・Web会議]について

(目黒常任理事)

各ワーキンググループの座長より、諮問に対して抽出した検討すべき課題について報告があり、次期委員会以降で詳細な議論を行うための論点を整理した。

- 6) 病院委員会 [3月3日(木)・Web会議]について(佐古副会長)

前回の委員会にて実施することとした、COVID-19の第5波流行を踏まえた医療提供体制に関するアンケートの報告があり、その後、会長諮問「新型コロナウイルス感染症の流行下における医療提供体制と病院の役割」の答申案について協議し、7項目の提言を盛り込むことなどを決定した。

- 7) 医師の働き方検討委員会 [3月4日(金)・Web会議]について(藤井委員)

労働時間短縮の取組の分析・評価を行う医療機関勤務環境評価センターについて、その具体的な業務内容と令和6年4月に向けたスケジュールが報告された。また、実際に評価業務を行う医療サーベイヤーについて、当会からは12名を推薦しており、今後、労務管理サーベイヤー(社会保険労務士)と書面評価等を行っていくことになるが、必要書類の提出から承認まで約半年かかることから、早めの対応が求められると説明があった。さらに、勤務医の健康の現状と支援の在り方に関するアンケート調査結果の報告があり情報共有した。

- 8) 医師会共同利用施設検討委員会 [3月25日(金)・Web会議]について(伊藤常任理事)

日医・松本常任理事より、第52回近畿地区医師会共同利用施設連絡協議会の報告があった後、最終答申案について協議した。

- 9) 未来医師会ビジョン委員会 [4月9日(土)・Web併用]について(上埜委員、中川委員)

答申案の取りまとめを行った。今後、日医・中川会長への答申手交に向けての準備を進める予定である。

- (3) その他

1) 外園監事の辞任について(目黒常任理事)  
外園監事から、一身上の都合により、令和4年3月末をもって、辞任の申し出があったことを報告した。

2) 第32回(2027年)日本医学会総会立候補の取り下げについて(松家会長)

三育大学学長、研究院長、当会および行政も含めた連名で日本医学会へ立候補をしていたが、コロナ禍により先行きが依然として不透明で見通しが立たないことから、開催のタイミングとして必ずしも適切でないと判断し、2月に開催した日本医学会定例評議員会にて開催を取り下げる意向を示した。

#### 4. 承認事項

(1) 社会保険診療報酬支払基金北海道支部審査委員会委員の推薦について(伊藤常任理事)

外科1名の辞任に伴う後任について、札幌市医師会より推薦のあった北海道がんセンター・渡邊健一医師を推薦することで決定。

(2) ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する緊急声明および医療支援について

(目黒常任理事)

3月15日に開催された日本医師会の理事会において、日医・中川会長からロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する緊急声明を、各都道府県医師会との連名で至急発出したいとの連絡が入り、松家会長および三役の承諾を得て了承したことが報告された。また、日本医師会からの呼びかけに応じ、ウクライナ国民への医療支援として、当会より100万円の支援金を支出したことを承認決定。

(3) 北海道医師会職制の一部改正および事務局の人事異動について(目黒常任理事)

令和4年度より事業課を1課増設することに伴う職制の一部改正案、4月1日付けの事務局人事案を承認決定。

(4) 個人情報保護管理体制・特定個人情報等保護管理体制の一部改正について(目黒常任理事)

4月1日付け人事異動が行われたことに伴い、個人情報保護管理体制・特定個人情報等保護管理体制の一部改正を承認決定。

#### 5. 協議事項

第1号 第1回郡市医師会長協議会[5月28日(土)]の開催に関する件(目黒常任理事)

第1回郡市医師会長協議会を、5月28日(土)16時からWeb併用にて開催することと決定。

第2号 北海道医師会職員貸付金の利率に関する件(目黒常任理事)

昨年度同様の1.6%とすることと決定。

第3号 その他

(1) 令和4年度行事予定に関する件(事務局)

6. 道総医協関連事項(鈴木副会長)

令和3年度第7回理事会(令和4年2月12日)報告以降に開催された会議について報告した。

7. 閉会

## 第2回常任理事会

日時 令和4年4月26日(火) 18:00~18:50

場所 北海道医師会館・9階理事会室

出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、藤瀬・梶両監事、長瀬顧問

(事務局：本田事務局長ほか14名)

#### 協議事項

第1号 母体保護法指定医師審査委員会委員の変更に関する件(目黒常任理事)

行政官庁区分選出の北海道保健福祉部子ども未来推進局・村松医療参事の異動に伴い、後任の久保医療参事の就任を承認することと決定。また、学識経験者区分の丸山委員が、4月13日に急逝されたことに伴う後任については、現在調整中であり、後日改めて協議する。

第2号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(目黒常任理事)

持ち回り審査で指定可とされた、新規2名と再審2名の申請者を指定医師とすることと決定。

第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件(生駒常任理事)

担当部持ち回り審査で承認した新規申請者4名と更新申請者18名を日医へ申請することと決定。

第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件(三戸常任理事)

担当理事持ち回り審査で承認した新規申請者1名と更新申請者3名を日医へ申請することと決定。

第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(高橋常任理事)

専門医会・医学会・研究団体主催で申請のあった日医生涯教育講座8件の承認を決定。

第6号 事務連絡協議会[5月20日(金)]の開催中止に関する件(目黒常任理事)

例年、5月下旬に、各郡市医師会・医育機関医師会の事務職員を対象に「事務連絡協議会」を開催していたが、新型コロナウイルス感染症が道内各地で高い水準で発生している現状を鑑み、今年度も中止することと決定。

第7号 その他

(1) 5月行事予定表に関する件(事務局)

#### 報告事項

1. 第43回産業保健活動推進全国会議[4月15日(金)・Web開催]について(生駒常任理事)

全国3ヵ所の産業保健総合支援センターから、産業保健総合支援事業に関する活動事例報告が行われ、そのうち、北海道産業保健総合支援センターからは、仕事と治療の両立支援のガイドラインの認知度調査の結果報告があった。その後、「医療機関における働き方改革－医療の質の向上を目指して－」をテーマとしたシンポジウムならびに事前に寄せられた質問についての意見交換が行われた。

## 2. 第16回男女共同参画フォーラム〔4月23日(土)・Web開催〕について(長谷部常任理事)

新型コロナウイルス感染症の影響で開催が見送られていた本フォーラムは、大分県医師会の担当で「医療人を育む一歩から～医師の多様な働き方について～」をメインテーマに約2年越しにWebにて開催された。基調講演Ⅰでは、日本眼科医会・白根会長より「日本眼科医会の男女共同参画－医会活動に女性が関わる意義－」をテーマに、医師の働き方改革を乗り切るために学会と連携して取り組んでいるダイバーシティ推進について、また、基調講演Ⅱでは、大分大学医学部附属病院心臓血管外科・宮本教授より、「悠遠の男女共同参画－苦悩する心臓血管外科医」をテーマに、科学技術開発・導入による働き方改革と男女共同参画の推進について講演があった。日医男女共同参画委員会、日医女性医師支援センターからの報告後、引き続き行われたシンポジウムでは、3名のシンポジストによるプレゼンが行われ、最後の総合討論にて活発な議論が交わされた。参加者は261名。次回は、来年5月27日(土)、三重県医師会担当で開催予定。

## 3. 第42回東北・北海道医師会共同利用施設連絡協議会各道県医師会担当理事打合せ会〔4月23日(土)・Web併用〕について(笹本常任理事)

9月10日(土)～11日(日)の2日間、宮城県仙台市において開催する標記協議会について、メインテーマを「医師会共同利用施設－パンデミックを越えて」とし、1日目は施設見学等、2日目は基調講演、シンポジウム等を行うことを決定し、今後のスケジュールについて確認した。

## 4. 外部各委員会報告

### (1) 第2回北海道がん対策基金運営委員会〔3月18日(金)〕について(藤原副会長)

令和4年度事業計画案、予算書および本基金による令和4年度助成事業として申請のあった8団体8事業について協議し、全ての事業が採択された。

### (2) 第2回北海道DMAT等検討ワーキンググループ〔3月22日(火)・Web開催〕について(目黒常任理事)

新たに追加される北海道DMAT指定医療機関に、DMAT隊員を最低1チーム確保する必要があることから、日本DMAT養成研修受講の優先順位の見直しを行った。その後、道内のSCU(広域搬送拠点臨時医療施設)の指定状況および

EMIS(広域災害救急医療情報システム)の研修会等について報告があった。

### (3) 第2回北海道がん対策推進委員会〔3月23日(水)・Web併用〕について(松家会長)

冒頭で互選により小職が新会長に選任された。その後、北海道がん対策推進計画の進捗状況や令和4年度のがん対策の主な取組について協議した。また、本委員会に係る各部会の開催状況や国のがん対策推進基本計画の中間評価および次期計画策定にむけた動向について報告があった。

### (4) 第2回北海道CDR推進会議〔3月29日(火)〕について(三戸常任理事)

令和3年度北海道CDRモデル事業報告書案について、天使病院小児科科長・佐々木理委員より説明があり、各委員がそれぞれの立場から現状と課題について報告し、協議を行った上で一部を修正し、承認された。また、令和3年度のCDR対象事例数は6事例であった。

### (5) 特別支援学校における医療的ケア連絡協議会〔3月29日(火)・Web開催〕について(藤原副会長)

令和3年度実施事業の報告の後、学校における医療的ケア実施に係る検討会の設置および医療的ケア実施のためのハンドブック(改訂版)について説明があり、了承された。

### (6) 北海道公衆衛生協会第3回常任理事会〔3月29日(火)・Web開催〕について(藤原副会長)

令和4年度の事業執行計画および第74回北海道公衆衛生学会の開催概要等について説明があった。

### (7) 第25回北海道医療対策協議会〔3月30日(水)〕について(佐古副会長)

医師派遣(紹介)連絡調整分科会からは、令和3年度における医師派遣の調整状況ならびに令和4年度に向けた地域医療支援センターの派遣状況について、地域医療を担う医師養成検討分科会からは、令和3年度医師確保計画の推進状況と地域枠制度運営状況について、専門医制度等検討分科会からは、道内研修医・専攻医の採用状況や臨床研修病院の募集定員等について、それぞれ報告があり、了承された。

## 5. 各部報告

### (1) 特定健康診査集合契約について

(三戸常任理事)

今年度の代表保険者である公立学校共済組合ほか944保険者と4月1日付けで契約を締結した。集合契約参加医療機関数は1,448件、そのうち代行入力希望医療機関数は467件である。なお、昨年度の健診データ電子化代行件数は7,878件で、前年度比747件の減少となっているが、これはコロナ禍による受診控えが原因と考えられる。

### (2) 北海道有朋高等学校通信制課程協力校受講生定期健康診断の委託契約について

(三戸常任理事)

平成23年から毎年協力している北海道有朋高等学校通信制課程協力校受講生定期健康診断について、4月15日付けで今年度の委託契約を締結した。契約期間は、令和4年5月9日から7月30日までで、健診単価は昨年度と同額である。今年度の受診対象者は32校963名であり、302医療機関にご協力いただくこととなっている。

## 6. その他

### (1) 会員数について（目黒常任理事）

令和4年3月31日現在の当会会員数は8,142名で、内訳はA会員2,371名、B1会員614名、B2会員4,604名、C1会員78名、C2会員127名、C3会員348名となった。なお、日医会員数は5,726名となっている。

# Actions

# アクションズ

若手医師活動報告

## 投稿大募集!!

TEL : 011-231-7661  
E-Mail : ihou@m.doui.jp

### セミナー



### 勉強会



### 感染症対策



### 各種医療活動

